

果樹病虫害発生予察調査結果（6／10調査分）
（三条、加茂、田上地域）

6月10日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- 有効積算温度による予測では、ナシヒメシクイの**1世代成虫の発生盛期は6月19日頃、第2世代幼虫の防除時期は6月26～28日頃**と予測されます。
- 今回調査でハダニ類の発生が一部園地で確認されました。今後高温乾燥傾向が続く場合、注意が必要です。特に主幹近くの葉裏を丁寧に観察しましょう。
- ニセナシサビダニによる被害が一部園地で確認されました。**6月中旬～下旬頃が防除適期**となりますので、適期防除に努めましょう。
- 調査園地外でカメムシ類によるモモの吸汁被害が確認されました。適期防除や早期の袋かけで被害を防ぎましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 花腐細菌病の発生が増加傾向となっています。り病枝は切除し、園外で処分しましょう。
- 今回調査で、黒星病の発生は確認されませんでした。り病葉・り病果を発見したら摘み取り園外で処分しましょう。今後、梅雨入りすると雨天や多湿の日も多くなりますので、園内の過湿を防ぎ通風をよくすることも大切です。新梢管理や排水改善にも努めましょう。
- セイヨウナシ褐色斑点病の発生が確認され、増加傾向となっています。り病葉・り病果を発見したら摘み取り園外で処分するとともに、果実被害を予防するために**早期の袋かけ**をお願いします。

- ワタアブラムシの寄生は確認されませんでした。寄生を発見した場合は、寄生部位は摘み取り園外で処分するとともに、薬剤防除を行う場合は抵抗性を抑制するため、同系統の薬剤を連用しないよう注意してください。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- せん孔細菌病の発病葉が確認されています。り病した枝・葉・果実は切除し、園外で処分するとともに、**袋かけや新梢管理も早期**に行いましょう。
- ナシヒメシンクイによる新梢先端部の心折れは確認されませんでした。発見した場合は、果実への食害を防ぐため、適期防除に努めましょう。また、被害部位はせん除し、園外で処分しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、被害つる数を調査しました。

- 灰色かび病は確認されませんでした。が、過湿状態で発生しやすいため、通風状況に注意し新梢管理等に努めましょう。
- 今回調査で果実被害は確認されませんでした。が、今後の降雨や暑さによる病虫害の多発生が懸念されますので、できるだけ早期の**傘かけや袋かけ**をお願いします。

次回調査は6月25日(水)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020